

第6回みよし未来環境会議 市外フィールドワーク かわらばん

2023年12月9日（土）～10日（日）

会場 （株）クニヒロ、鷺羽山ビジターセンター、美星天文台、星の郷ふれあいセンター、グリーンブル蒜山

参加者 神田日向、梅木亮汰、岩倉伊吹、
兒櫻浩介、下岡快成、井上海太

欠席者 谷藤拓真、白根瑞紀

第6回みよし未来環境会議では市外のSDGsの取組を学ぶため、三次を飛び出して尾道市・岡山県の倉敷市・井原市・真庭市での視察研修を実施しました。尾道市では干潟の保全活動、井原市では美しい星空を守るための取組など、それぞれの地域の強みを活かした持続可能なまちづくりを学ぶことができました。視察以外にも、協力して夕食を作ったり皆で寝泊まりするなど、アンパサダーの絆がより深まるような貴重な経験もできました。



環境政策課
折山より

「なるほど～」と深くうなずき、「すげ～！」と声をあげる、そんな感動と発見、実りいっぱいのフィールドワークでした。また、多くの時間を共に過ごすことで、私はアンパサダーの成長に感動し、笑顔に活力をもらったフィールドワークでした。



フィールドワークに出発！

8時30分、三次市役所を出発。市外に飛び出し、見て、聞いて、たくさんのかんことを学んで帰ろう！



（株）クニヒロによる干潟保全活動

「きれいな海」ではなく、生物が生きるのに必要な成分や要素を残した「豊かな海」を守る取組が必要だと学んだ。



鷺羽山の自然と瀬戸大橋

鷺羽山ビジターセンターにて、鷺羽山に生息する生き物や自然、瀬戸大橋の歴史について学んだ。広い海と瀬戸大橋をバックに一枚。



美星天文台

美星天文台では、美しい星空を守るための条例について学んだ。住民が力を合わせて守り続けている星空はとても美しかった。



星の郷ふれあいセンターに宿泊

夕食では、美星町で育った野菜や美星満天豚を美味しくいただいた。サステナアンパサダーたちは1つの部屋に皆で寝泊まり。楽しい夜はあっという間に過ぎた。



真庭市の資源循環

2日目には、グリーンブル蒜山を視察。真庭市の豊富な森林資源などを活かした取組は、同じ中山間地域の三次市にとっても参考になるはず。

サステナアンパサダーから一言



神田さん

全体を通して、三次以外の地域だからこの取組があり、人がいて、三次でもその取組が出来たらいいと思った。



谷藤さん

欠席



白根さん

欠席



梅木さん

やりすぎることは返って大きな悪影響を与えてしまうことがあるため、人と環境が両立できる最低限くらいが一番だと思った。



岩倉さん

持続可能なまちづくりには、地域の特色を活かすことや、発想の転換が大切ということがわかった。



兒櫻さん

（株）クニヒロが、環境問題を認識するだけでなく、分析し、実際に改善に向けて取り組んでいることが心に残った。



下岡さん

町民（美星町）の理解を得て環境保全を続けるのに、どんな工夫が必要なのかもっと知りたい。



井上さん

口径101cmの望遠鏡で、とてもきれいな土星を見たことが心に残った。

※「サステナアンパサダー」とは、みよし未来環境会議に参加している市内の中学校、高校に通う生徒8名のことです。